



インパ ール 坂 作戦 元 の教訓 和 夫

軍隊の話

この作戦を黙認しました。

勿論、

出来事です。 力を投入して侵攻しようと 市インパールへ、数万の兵 期に近い一九四四年後半の インド領アッサム地方の都 見た日本軍は、 しました。太平洋戦争の末 大東亜共栄圏の建設を夢 ビルマから

当時の日本軍にはこれを支 站部門から強い疑問が出さ ばなりません。当然、膨大 れましたが、大和魂論の前 でした。作戦会議では、兵 える兵站能力がありません 必要となりますが、 な糧食や弾薬などの補給が 岳地帯を越えて行かなけれ は、三〇〇粁もの距離を山 ビルマからインパー 慎重論者は口を噤み、 もはや ルへ

> 暴走する好例です。 0 とイギリス軍の反撃のため に侵攻部隊は全滅しました。 とおりとなり、飢餓と疫病 仕組みがないと、組織が 作戦の結果は危惧された チェックアンドバランス

企業の話

部門から管理部門が独立す 規模が大きくなると、経理 げる筈です。 経営管理へと守備範囲を広 す。守りの論理を徹底すれ らが欠けても、企業経営は 経理は車の両輪です。どち 経理は守りの論理に徹しま めの論理で動くとすれば、 成り立ちません。営業が攻 どんな業種でも、営業と 経理は、記帳業務から そして、

> 度成長期あるいはバブル経 の企業が多いことです。高 も攻めを重視する経営方針 いて感ずるのは、 るようになります。 民事事件の相談を受けて 守りより

ようになります。 果、管理は発言力も意欲も の中心に据えることは正し かのいずれかの態度をとる 棄し営業の方針に追随する て、本来の任務・姿勢を放 的発想へと自己変革を行っ あるいは、逆に、自ら営業 極的な態度に終始するか、 をつむり、数字合わせの消 失い、営業の行き過ぎに目 魔扱いをされます。その結 ては営業の足を引っ張る邪 産部門として軽視され、果 と、管理は、後向きの非生 至上主義が社内に充満する いでしょう。 しかし、売上

きます。 のツケは、いずれは廻って このような管理部門軽視 売先の倒産とか取

> をみることになります。 ては、会社は倒産の憂き目 むことになり、場合によっ して、今更のように臍を噛 不渡手形を掴まされるなど 込み詐欺に引っ掛 かるとか

営業ですから、これを経営 済の頃は特にそうでした。 利益を生み出すのは ん。 なったのも故なしとしませ 行政改革が叫ばれるように 政の肥大化が問題となり、 で目を届かせています。行 ともに、社会生活の隅々ま 使して経済界を支配すると の行政は、強大な権限を行 生活を享受しています。 が中流意識のもとに豊かな は目覚ましく、国民の殆ど 近年のわが国の経済発展 司法の話

平成五年には○・三九パー ていなかった司法予算は、 もともと国の総予算の中で れ、軽視されているのです。 司法は必要悪と位置づけら こっています。国政の中で、 司法は、年々地盤沈下をか パーセント前後しか占め 一方、三権の一つである

所は、 に対処することを余儀なく 設備のもとで増大する事件 いました。その結果、 セントまで落ち込んでしま 拙速審理の批判を受 人員不足と不十分な

ます。 難になっています。 判所が違憲立法審査権を行 が勝訴することが極めて困 法を主張して裁判所に救済 酷評され、国民が行政の違 査の上塗りをするだけだと 使することも殆どありませ 踏み込むことに臆病で、 護訴訟において政策判断に 行政寄りになったと言われ けるに至っています。 を求める行政訴訟では国民 ん。そして、刑事裁判は捜 体質が益々消極的になり、 これに加えて、裁判所の 環境保全や消費者保 裁

玉

の教訓は今に生きているの く先が思いやられます。 なくなったこの国の行き着 司法が抑制機能を低 あのインパール作戦失敗 行政の暴走を止められ



ミュンヘンの歩道(中央が噴水になっている)

八日までの間、 四月二四日から五月 ラノを中心にみ ボローニャ、ミ ミュンヘン、イ ハイデルベルグ、 フランクフルト、 してきました。 調査のため訪問 タリアでは、ロー タリアの都市を、 ドイツでは、 フィレンツェ、 ドイツとイ

位置、 計画 徴は、 られています。 物の使途などが詳しく定め 率のほかに、建物の壁面の ランには、建ぺい率、容積 ころにあります。このBプ に従わなければならないと 細計画とよばれるBプラン (Fプラン) と地区詳 デザイン、色彩、建 地域全体の土地利用 住宅建設等をする場

が開かれます。

して、

公害・環境部門の分科会

会の第三六回人権擁護大会

京都で日本弁護士連合

て予定しています。 まちづくり」をテー

この分科会報告の準備と

京都会館を中心とし

来る一〇月二八日、二九

「変えてみませんか、

マとし

りなおされたうえで、決定 ンの内容に不服を持つ住民 されます。また、このプラ な意見が反映した内容にね 段階で、住民にわかり易く 公開され、住民のさまざま このBプランは、素案の プランの内容を訴訟で

景によって、

向

かを力説されました。

てきました。

F プランと

Bプラン■

ことになっています。 域では、 ランが決定されていない地 されているそうです。 ○%ものBプランが無効と 争うことができます。 開発行為が認められ 驚くべきことに、 原則として、一 В ない 切

ザルツブルグ祝祭

劇場にて

ハイデルベルグと

イタリアのまちづくり

尾

廣

룝

1 "

ワ 1 K は

住

民自治

ドイツのまちづくりの特 境問題、 ました。 すばらしいスピーチをされ 迎する昼食会にも、気軽に 験もある女性で、私達を歓 心の落ち着く町です。ここ カーディガン姿であらわれ、 の市長は、ECの高官の経 ル ベルグ」で知られるハイデ 0 ベルグは、いつ訪れても |戯曲「アルト・ハイデル マイヤー=フェルスター 開発は、住宅、環 休暇の場所、 ミュンヘン

は確保できないことを強調 Bプランなしには町の調和 るミュンヘンでは、 市街地への乗り入れ規制と し、ミュンヘンでは、 にお会いしました。 イエ 画官であるブーザー ルン州の州都 市の都 車の

京都を日本人がこわしてい 実情もよくご存じで、「ア されました。氏は、京都の ライドをまじえて詳しく話 れていることについてもス 歩行者天国の拡大によって、 メリカ人がこわさなかった 八間中心の町づくりが行わ

2人目)の昼食会ハイデルベルグ市長 (右から



る。経済的利益の追求のみ



ミュンヘン市での調査 (中央がブーザー氏)

財保護団体に、全ての環境

象的でした。 との強い調子での発言が印 ではまちづくりはできない。

「分権と参加」の国

権されています。 地区詳細計画を作る権限を が徹底しています。また、 リコ)内の建築行為の規制 ラに代表される自然・文化 完全に確立しています。 決定するというシステムが まちのことはまちの住民が ある地区住民評議会へと分 体に、さらに住民の団体で ふくめ、多くの権限が自治 街地 また、イタリア・ノスト イタリアでは、 (チェントロ・スト イタリア ■ つまり、 歴史的な

> れています。 訴訟を起こす権利も認めら 問題について、 を、原告として起こしてい 年間四〇件程度の環境訴訟 イタリア・ノストラは、 団体として

■ボローニャの挑戦 るそうです。

性にもかなっているし、 低層で職住の近接した新し ボローニャの特色を生かし、 居みやすくして、都心部に、 のは、ボローニャ市の攻め を力説していました。 民の生活も保障されること 全こそが革新であり、経済 できています。市のマスター の市民が中心部に移り住ん ています。その結果、多く いまちづくりを積極的に行っ い建物を次々と修復再生し、 では、歴史的市街地内の古 の保全策です。ボローニャ トッキ氏は、歴史都市の保 プランを担当しているベル イタリアで印象的だった 市

■京都にどういかすか■ もちろんドイツやイタリ

アのまちづくりにも悩みが

権による地方政治の腐敗も が言われていましたし、分 議会での政党色による対立 る新法が施行されています。 がなくても建物が建設でき 年五月一日から、Bプラン 住宅の不足が深刻化し、本 イツでは、 ない訳ではありません。 イタリアでは、地区住民評 合や「難民」の流入のため、 東西ドイツの統

> も生かしたいものです。 のまちづくりに今後是非と 意識の高さと努力は、 決めるのだという両国民の 自分達が、まちのあり方を 大な人権問題としてとらえ、

京都

しかし、まちづくりを重

アルノ川をのぞむ) (ミケランジェロ広場からフィレンッィエのまち並み

本円で六千円とは、

安い!

行ってきました。 オーストリアのザルツブル グ、ミラノではスカラ座に 番外編■ ザルツブルグでは、 忙しい日程の間をぬって、 お城

深刻です。

ボリュームのある歌声に感 ケットを入手して、 ザルッブルグ音楽祭の会場 ゴを見、 オペラが上演中。何とかチ りという「フェドーラ」の 市内を一巡しました。途中、 張られていました。 ラムも決まり、ポスター したが、既に、夏のプログ となる祝祭劇場に立寄りま に登り、馬車でゆったりと スカラ座は、三〇数年ぶ 二番目のBOX席で日 そのやわらかさと ドミン \$



山 﨑 浩

弁護士と英会話●

これまで、一般の弁護士と英会話のレッスンを受けと共会話のレッスンを受け

の社会問題を取り扱ってい環境、消費者を始め、多く要とされてきています。要とされてきています。の社会では、人権、司法、をとされてきない。最近はなかったのですが、最近はなかったのですが、最近はなかったのですが、最近はない。

昨年、民事訴訟法改正問題 が世界的視野で行われるようになってきたのです。 僕も、昨年は陪審裁判の でのため、今年は都市計 での研究のため、アメリカ ではでするように調査に行き、S弁護士は、 に調査に行き、S弁護士は、

切な勉強なのです。
ないですから、英会話のレッた。ですから、英会話のレックでは入りないですがら、英会話のレックでドイツに視察に行きまし

ドイツの外国人排斥感情 ●

がテーマでした。

がテーマでした。

がテーマでした。

がテーマでした。

特に印象に残ったことはでトルコ人の家が放火されていました。ネオナチグルーでを中心とした外国人排斥力を中心とした外国人排斥力を中心とした外国人排斥でトルコ人の家が放火されでトルコ人の家が放火されていました。

はドイツに貢献したのであり、ドイツ人の反感を買うり、ドイツ人の反感を買う時感情のはけ口にされていた感情のはけいできれていいがあります。

反ユダヤ人主義批判サルトルの

いわれのない迫害を受ける民族、それが現在のドイる民族、それが現在のドイツにおけるトルコ人だというのですが、このことは、実存主義哲学者サルトルの書いた「ユダヤ人の迫害の歴史を思い起こさせました。実存主義哲学者サルトルは、反う書物で、サルトルは、反う書物で、サルトルは、反う書物で、サルトルは、反う書物で、サルトルは、同りかにしています。

そして、反ユダヤ主義は害者側にあったことを指摘を害者側には存在せず、加や人迫害の原因は、決して

社会的矛盾による国家の分

す。 全体主義を維持しようとす 裂を回避し、国家的統一、

トルコ人自身は、

歴史的

に

として行われたというより も、普通の人間にみられる も、普通の人間にみられる も、普通の人間にみられる 見出しています。つまり、 見出しています。つまり、 見出しています。つまり、 見出しています。ではなる のますが、この矛盾や恐怖 に正面から立ち向かい、解 たではけ口をユダヤ人等の そのはけ口をユダヤ人等の そのはけ口をユグヤ人等の

他の地方では黒人が、あるですから、彼は、反ユダヤ主義者を完全な責任回避とすら試みられぬあわれなとすら試みられぬあわれなとすら試みられぬあわれなとすら試みられぬあわれなとすら試みられぬあわれない。ですから、彼は、反ユダですから、彼は、反ユダ

というのです。というのです。

まな気がします。 害を受けることの原因がわいなっているこの時期に、 になっているこの時期に、 になっているこの時期に、 になっていることの原因がわいのない迫

を述べました。 災の時の朝鮮人虐殺の歴史 した事件として、関東大震 事の感想を尋ねられ、類似

サルトルの考えに接し、コーロッパにおけるユダヤス、日本における朝鮮人の問題が、いずれも共通の原問題が、いずれも共通の原因をもっていることに気がつきました。そして、実はこれは人種問題に限られずるました。そして、実はのいじめ問題も共通の原因をもつのではないでしょうか。

れたものなのです。

の人の合理性とはかけはなれ故、反ユダヤ主義は、そ

と傍観はできません。ない限り、ドイツの出来事厳を実感できる社会を築かなくして、誰もが人間の尊なくして、誰もが人間の尊なくして、誰もがん間の尊



出 会 () L_

杉 本 孝 子

先生は?」このように始ま 持ちで一杯になる。「A君? くる。思わずホッとした気 とても元気な声が聞こえて ずかしそうで、それでいて ことであろう。 る会話がもう幾度となった 元気?」「ああ元気です。 た。「僕です。」ちょっと恥 今日も電話のベルがなっ

れてきた彼は、 判所であった。 いた。施設を「卒業」する れ、その度に私は返事を書 の教育を受けざるをえなかっ なく、幾たびか矯正施設で 今から七年前、 家裁に寄ってくれた。 彼と初めて会ったのは、 その足で母親と二人、 施設からよく手紙をく 本当に止む 家裁に送ら ある家庭裁 私が

> うになることへの不安、ど 反してはみ出してしまいそ

他ならぬ施設

自分を送った当の裁判官

きたいものである。

き動かされ、全く気持ちに

話をくれている。 約二か月に一度きちんと電 にあった。以後の二年余、 る三日前も、ぎりぎりで間 裁判官を退官して京都に帰

うに思っている私は、心か られないくらい不思議だな。 び始めて以来、本心そのよ 思う。」と、臨床心理を学 実はとても大変なことだと が普通だったのですね。」 だけど考えてみれば、これ なのですよ。自分でも信じ これで、二年と一か月と半 だ同じ仕事続けているよ。 か。」と、ささやかれても 入ったりの子と違うだろう して、普通であることが、 いた。それなのに、「僕ま - 普通が一番いいのよ。そ あの子は、生涯 出たり

> らそう伝えた。 先月の会話 僕まだ

である。

うかつにも相当経ってから ない巨大なエネルギーにつ るものの、自分でもわから を真剣に考え出したのは、 真のものは何なのか、これ が私への電話で求めている 度々電話をくれるのか、彼 になれれば、と考えていた。 かなければならない彼にとっ 私は解釈し、社会的に重い 報告してくれているものと やっていないよ、と、かね んとか仕事を続けられてい 中で、きちんと学べなかっ であった。彼の生育過程の て、少しでも精神的な支え ていつも心配していた私に、 た社会的な規範、そしてな ハンデイを負って生きてい ところが、何故こんなに 電話をくれる度、 が

をも求めている、とみるの 世の中の規範や逸脱を食い 止めるためのブレーキの役 相当のようである。 自分でも気づかずに、

る中で、これらを求めてい と難しいことであろう。そ 場に立ち、心の痛みも含め 従来カウンセラーが担って 違いない。彼が電話をして く自然な関係や応対を続け はならない。なんとか、ご 範、ブレーキの面も忘れて のうえ、彼の求めている規 する」ということは、なん た彼の真の気持ちを「共感 にしても、彼の置かれた立 きた分野でもあろう。それ いってやりたい。それは、 ていくのを待ち、見守って が自らとその道を築きあげ ていきたい。その中で、彼 ありのままの彼を受け容れ くる一回々々に誠実に ても、きっと立ち直れるに (心)を傾け、できるだけ 例え多少の紆余曲折はあっ 耳

つい先日、「先生、

考えている次第である。 これからの役割を、そっと 私は、裁判官とは異なった い方々との出会いの中で、 こしてしまった将来ある若 全く不本意ながら事件を起 まのことがあるであろうが、 の点については広くさまざ た。法律家と心の問題、 してくれたことが嬉しかっ 国選弁護事件の青年から、 た。そのような時に思い出 ました。」との電話を受け 弁護士になって担当した 出られ

の訪れることも…。 かされることを夢みている。 心理の勉強が、少しでも生 年余りとなる京大での臨床 ないものであろう。現在二 出会いもまた、かけがえの らしい存在であり、そして 電話を必要としなくなる日 そして、A君に、私への 人間はもともと実に素晴

からがも間座

五年の別居と離婚請求

「夫婦が別居して五年になれば、て五年になれば、を起こせるようになる」、このようなる」、このようには後が改正され

制審議会民法部会

えば五年程度)以上共同生えば五年程度)以上共同生え(a案)と並んで、「夫え(a案)と並んで、「夫から、中間報告が出されまから、中間報告が出されま

活をしていないとき」を加

済的裏打ちがどこまで実現

できるのかとの現実問題も

れています。 ただし有責配偶者(り案。ただし有責配偶者が著しく苛酷な状態に置かが著しく苛酷な状態に置かがるときは認めない、とすのはなお検討)が提案されています。

を支持する少数意見もあり)的にb案に賛成(但しa案日弁連はこの六月、基本

皆様いかがでしょうか。

との意見書を出しました。 り案には、破綻すれば離婚 も止むをえずその方が人間 的、いずれに責任があった かを審理し互いに傷つけ合 うのは止した方が相当であ る、離婚給付を充実させる おがよいなど説得力ある理 由があげられています。

過と事情が異なるうえ、経を認めざるをえなかった経を認めざるをえなかった経めが破綻主義を取入れ、離婚が破綻主義を取入れ、離婚ともと協議離婚制度(全離ともと協議を受ける。

大きく、さらに、「五年別一人歩きし、協議離婚に及でいかない夫婦のあり方にぼす影響、ひいては離婚までりえる影響は無視できないと思われます。

-10 -